

議会運営委員会会議録

(閉会中 令和5年 6月27日)

長 与 町 議 会

長与町議会運営委員会会議録（閉会中）

本日の会議 令和5年 6月27日
招集場所 長与町議会第1委員会室

出席委員

委員長	竹中 悟	副委員長	堤 理志
委員	西田 健	委員	中村 美穂
委員	金子 恵	委員	山口 憲一郎

欠席委員

なし

出席委員外議員

議長	安藤 克彦	副議長	西岡 克之
----	-------	-----	-------

職務のため出席した者

議会事務局長	荒木 秀一	議事課長	福本 美也子
係長	江口 美和子		

本日の委員会に付した案件

- (1) 議長からの諮問事項について
- (2) 議会運営委員会視察研修について
- (3) その他

開会 9時29分

閉会 10時05分

○委員長（竹中悟委員）

皆さんおはようございます。定足数に達しておりますので、直ちに議会運営会を開催いたしたいと思います。今日は議長が実はペーロンのことで不在ということだったんですけど急遽中止になったということで、委員外議員としてご出席をいただいております。どうもありがとうございました。

それでは、式次第に基づきまして会議を進めていきたいと思います。今日は大体午前中を予定をいたしてます。それから実は1つ目の今回の私たちの与えられた諮問事項というのは、議員報酬、それから議員定数、それから3つ目に議会におけるICT化ということを議長から諮問を受けているわけです。いずれにいたしましても、この3つにつきましては過去調査した経緯があるんですね。今日はその資料として皆さん方にこの3つの分の経緯を資料として差し上げておりますので、今見て今すぐということはなかなか難しいと思いますので、今日は流れとそして研修の目的も幾つか作らせていただきまして、会を終了させていただきたいとそのように思ってます。それと1つ目に入りますけど、議員の報酬につきまして実は昨日行政側の方に報酬の諮問機関であります報酬審議会というのが町長の諮問機関にあるわけですけど、この方の説明を求めたいということでお願いしたんですが、これは定例的にやっているわけじゃなくて町長がそのときに、報酬を上げなくちゃいけないと思いついたときに要は招集して、そして諮問をするというような形になっているそうで、私たちの方に説明することは難しいということでございましたので、そういう計画をしておりましたけど、このことにつきましては断念せざるを得ないということになりましたので、皆さん方にご報告しておきます。それでは、1つ目の議員報酬についてをまず議題といたします。

暫時休憩いたします。

（暫時休憩）

○委員長（竹中悟委員）

それでは休憩を閉じて委員会に戻したいと思います。休憩中に皆さんいろいろなお話を聞きましたけど、やはり住民の理解とかそういうのはやはり当然必要だろうということのお話は十分頂きました。それでも、やはりこの私たちのもちろん活動、生活において値上げというのは避けて通れないというふうな感じはお持ちだと思っていますので、その方向で今回進めさせていただきたいというふうに思ってます。なかなか進め方が難しいもんですから。それで今回はちょっと先に話をしようと思っていたんですけど、今、行政体で私たちの町議のレベルでかなり金額が高い所は月36万円、普通の議員で。こういう所が一番最高なんんですけど、そういう所の視察なんかをして、どのような形で金額が上がつていったかということも精査していきたいということで、研修を予定させていただいたらと思いますけど、一番最後に日程について皆さん方にお話いただきたいし、また、どういうふうな項目の質疑を事前に行政の方に送りますので、それを少しまとめさせていただいて、研修させていただければとそのように思っております。今の休憩

中に皆さん方がお話しされたのは大体一致したご意見だと思いますので、これを少し事務局の方で集約して、そしてその質問状を作りたいと思いますので、そういうことでようございますでしょうか。それでは、議員報酬につきましてはこの程度で今日は終わらせていただきます。そして研修に行く前にあと1回議運を開かせていただいて、その確認をしていただくということで進めたいと、そのように思っています。

それでは続きまして、議員定数についてを議題といたします。これについても、暫時休憩をいたします。

(暫時休憩)

○委員長（竹中悟委員）

それでは休憩を閉じて委員会を再開いたします。

3つ目の議会におけるICT化につきましても、皆さま方のご意見をお聞かせいただきたいと思いますので、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

○委員長（竹中悟委員）

それでは休憩を閉じて委員会を再開いたします。

今休憩中に、議長から諮問されました3項目について個々のご意見を拝聴いたしました。それを今後、委員会の方で進め方として十分参考にさせていただきながら進めさせていただきたいと思います。

それでは、2つ目の大きな（2）番目、議会運営委員会の視察研修についてを議題といたします。この研修につきましては、やはりこの過去3年間はコロナ禍におきまして研修がなかなか思ったようにできなかったと思っているんですね。昨年は議会運営委員会でこのICT化ということについてされたという話を聞いておりますけど、今後皆さま方この研修についてどのようなご意見お持ちなのか、皆さんのご意見を聞かせていただきたいと思います。これにつきましては、そのまま委員会の議事録に残りますので、ひとつよろしくお願いいいたします。

では始めにまた山口議員からひとつお願いいいたします。

○委員（山口憲一郎委員）

それぞれ議員報酬、定数、そしてまたICTについても過去何回となくこういう研修はしてきたと思っておりますけども、まだこのコロナ禍の中で、また2、3年の中でそういう状況もやっぱり大分変わって、私たち長与町議会としても研修もなかなか行かれなかつた経緯もありますので、ぜひこの研修については進めていただいて、具体的な質問事項とか何とかまだ私の中では考えておりませんけどもぜひ進めていって、できれば特にICT化についてはやはり皆さんも要望も多くありますので、早く進めていければなという思いはしております。終わります。

○委員長（竹中悟委員）

中村委員。

○委員（中村美穂委員）

先ほどから議員報酬また議員定数、ICT化についてのことがありますので、なかなか私もこの2年間は先進地の視察というところはコロナ禍で行けなかつたということもありますし、議運にいなかつたというところもございますので、前議運の方が報告書を出していただいたのも見せていただいておりますけれども、できれば先進地の視察ができるのであれば所管事務調査として行かせていただければと思っております。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

西田委員、お願いします。

○委員（西田健委員）

私も一応、視察研修はしたいと思っております。私もコロナ禍で全然行っていないくらいなので、1年目だけだったので。それでなんで行くかというのは、この議員報酬、定数ですね、この辺のことでのICT化も含めてちょっと勉強したいと思っております。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

金子委員、お願いします。

○委員（金子恵委員）

研修なんんですけど、私は自分たちの目で見て、耳で聞いてっていうのは大切だというふうに思うので、研修には行くべきだというふうに思います。実際にいろいろ調べてみると、いろんな市議会とか町議会で定数と報酬はパックではないと言いましたけど、それをパックにして条例案を議員発議で出している所の話とか、ICTに関しても先進地の議会というのは、そこ2、3カ月で立ち上げて導入までこぎ着けているという例もあるので、そういう所、実際に行けていない、なかなか行っていない方もいらっしゃると思うので、話を聞いていただいて共に進めていただければと思います。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

堤副委員長お願いします。

○委員（堤理志委員）

議長からの諮問事項の報酬、定数、ICT化についてそれぞれ先進地等があるなら、そこを視察してどういう形で進めているのかを、自分の研さんを積む上でもそれは行っていいんじゃないかなというふうに思います。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

では副議長、すいません、また参考までにお聞きします。

○議員（西岡克之議員）

今、皆さんのご意見が出たとおり全く同意でございます。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

それでは皆さんの意向は一応研修をしてということでございますので、研修を今回早い時期にやりたいと思いますけど、今の私個人も研修するんであれば先に研修をして、

研さんを深めまして、質疑をしながら進めていくというのが順当だと思いますので。案といたしまして、もうすぐなんですが7月18、19、20日ぐらいは皆さんのが、ここはどうでしょうか。一応提案したいと思いますけど。

暫時休憩します。

(暫時休憩)

○委員長（竹中悟委員）

休憩を閉じて委員会を再開したいと思います。

皆さんの方から7月18、19、20日ということで、異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。それでは、私どもの予定としましては7月18、19、20日。しかしながら、まだ対相手の行政方にお願いをしないといけないので、次の議運の委員会までにはちょっと遅くなりますけど、途中で分かったら皆さんにまたご連絡させていただくということでようございますでしょうか。日程は、そのように決めさせていただきたいと思います。それから、今度行き先、この目的といたしましては、今回は議長の諮問によります議員報酬、議員定数、それから議会におけるICT化、この3つを1つの議題といたします。今の情報ですとこのICT化というのは、関西の熊取町というのが非常にICT化が進んでいるということで、実は去年、ここの中では金子委員と堤委員が行かれて、非常に良かったと。2回も続けていいですかっていう話をしたんですけど、それについてはぜひ皆さんも勉強していただいた方がいいんじゃないかなと、分かりやすかったということですので、再度行政の事務局の方からアプローチしていただいて、そこの研修をお願いさせていただきたいと、そういうことで日程を組ませていただきたいと思います。従いまして、この報酬につきましても、関西圏内の方が非常に高いということで、それと同時に一番最後に資料がありますように、定数削減も関西奈良県の方で令和4年にやっている。そういう分も含めまして、関西方面ということで、2泊3日の研修ということで決めさせていただきたいと思いますけど、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。それではそのような形でこちらも進めさせていただきたいと思います。

暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

○委員長（竹中悟委員）

それでは休憩に引き続き委員会を再開いたします。

研修につきましては、先ほど申し上げましたように18、19、20日、関西圏内ということで、この場所につきましては議長諮問の中の3つを考慮いたしまして、委員長、副委員長、そして事務局に皆さん任せていただくということでご同意いただけますでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。それでは、次回の委員会までにこれを皆さんに差し上げられるように予定しておきます。

それからもう一つ、先ほどちょっと休憩中も申し上げたんですけど、随行についてちょっと一つ皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。先ほど申し上げましたようにタブレットについてはやはり議会事務局も十分に関係してきますので、ここの方から1人、専門的な方を1人、それから報酬と定数につきましては総務の管轄になりますので、これについても1人、随行をお願いしたらいかがかだと思います。これにつきましては当然皆さんのお決まりを頂きましても、やはり議長から町長への依頼というのがあって承諾を取らんといかんのですけど、皆さんのお意見がございましたら、お願いしたいと思います。

山口議員。

○委員（山口憲一郎委員）

随行可能であれば、私は賛成、いいんじゃないかなと思います。議長お手数かけますけども、いいんじゃないかなと思つります。過去、そういう随行もいろいろ意見も出ておりましたけども、なかなかそういうことも実践はできておりませんけども、また特別と言うよりも、先々のこともありますので、いいんじゃないかなと私個人的には思います。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

他にありませんか。

副委員長。

○委員（堤理志委員）

行政側の方から来ていただくというのはそのものは別に構わないんですが、ただ、一点、二元代表制なので議会から強制みたいな形にはならないようですね。どんな言ったらいですかね、議会として研修するけども関連があるから来てみてはいかがですかみたいな申し入れ方をしないとまずいのかなと。二元代表制を踏まえた上で、申し入れ方をされた方がいいんじゃないかなと。

○委員長（竹中悟委員）

ありがとうございました。今の副委員長の意見もっともだと思いますので、要は議長の方から一応町長の方に依頼という形で、強制ということじゃないのですね、お願いしたいというふうに思います。それから多分、中村委員が委員長をされたときに随行したことが一つありましたよね。そこについてちょっとお願いしたい。

中村委員。

○委員（中村美穂委員）

すいません、4年前か3年前か覚えていないんですけども、介護保険課の方から私の委員会の中に安部委員がおられたということもあるんですけど、ぜひ勉強したい、フレイルとかそういうものの先進地に行くというところで、介護保険課の職員の方が

ぜひ一緒に行って勉強したいということで、1名お見えになったという経緯はあります。やはり議員の視察研修だといろいろな情報量がたくさんあるということで、参考になられたという感想は頂きましたので、あくまでもこれはそのときはその方たちが勉強したいという意向があつて参加されたということですので、先程の堤副委員長がおっしゃるように強制でも何でもなくて、そういう視察がありますが同行いただければというような言い方で進めていただければと思います。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

金子委員。

○委員（金子恵委員）

随行員として職員を連れていくのはもう大いに結構だし、私もできればそういう機会を職員の方にも一緒に勉強していただければいいなと思うんですが、こういう場合って研修費用ってどうなるんですか。ちょっと1回聞いたのは、議会の方から言えば議会から出さんばいかんよっていう話を1回ちょっと何か聞いたような気がするので、そこが解消できればいいんじゃないですか。

○委員長（竹中悟委員）

それでは局長、一応その内容について回答ができれば。

○議会事務局長（荒木秀一君）

予算の執行につきましては、旅費等についてはもうそれぞれの所管で執行するものというふうに私は理解しておったところです。執行部側にも当然その予算というのは組まれていないところで、行くのであれば当時も議会の方で見ていただけたらというようなことでそういった話になったのではないかと。すみません、推測で申し訳ありませんけど、そのように考えております。

○委員長（竹中悟委員）

中村委員。

○委員（中村美穂委員）

すみません、予算の執行についてまで私分からないんですが、先ほど申し上げたとおり安部委員がおられて職員が1人ではなくて2人というところで、議会事務局が1名、そして介護保険課から1名という形で、通常2名行くという中から1名が介護保険課の職員だったというように記憶しております。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

経費につきましては、事務局の方で一応調べさせまして、その規定のとおりいきたいというふうに思ってます。それでは皆さん、随行につきましては皆さん方のご意見を頂きましたように所管の方の随行をお願いしたいということで、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしということで処置をさせていただきたいと思います。このことにつきましては議長を通じまして、先ほど申し上げましたように理事者側にお願いをすると。そして

予算処置については、議会事務局の方で検討していただくということで処理させていただきたいと思います。それではその他に何かございませんでしょうか。それでは、次回の委員会の日程をちょっと調整させていただきたいと思います。現在、予定しておりますのは研修前の7月10日に予定させていただきたく、皆さんのご都合はいかがでしょうか。大丈夫ですか。それでは、次回の委員会につきましては7月10日9時30分より実行したいと思います。場所につきましては広報委員会との調整をした後、日にちだけ7月10日9時半からということで決定させていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。他に皆さんご意見ありますでしょうか。

暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

○委員長（竹中悟委員）

それでは休憩前に引き続き委員会を再開します。今事務局の方から、対相手側に対する質問状を作りたいということでございました。それで、よかつたら今月いっぱいに、この資料なんかを見ていただいて、今日すぐというわけにはいかないでどうから今月いっぱいに事務局の方にどうしても聞きたいことを提示していただければ、それを処理させていただきたいとそのように思ってますので、よろしくお願ひしたいと思います。

では、他に何かござりますか。ございませんでしたら、何回も休憩しましたけど、委員会をこれで終了いたします。お疲れさまでした。

(閉会 10時05分)